

作業學習（農耕）指導案

平成〇年〇月〇日〇曜日〇校時
中学部農耕コース男子3名女子2名合計5名
場 所 印刷室前ピロティー
指導者 ○○○○○○○○○○

1 題材 秋まき野菜の栽培

2 題材について

(1) 題材設定について

春まき野菜は4月ごろ種まきに始まり、気温が次第に上昇する条件で栽培するが、秋まき野菜は8～9月ごろの種まきに始まり気温が逆に下降する時期に栽培することになる。したがって、種まきから定植までの作業時期の遅れが作物の育成に大きな影響を及ぼすことになる。しかし、今回取り上げる玉ねぎとレタスは寒さや病虫害及び連作に強く、秋まき野菜の中では生徒たちにとっても栽培の比較的容易な野菜である。また、収穫したレタスは自宅に持ち帰り野菜サラダとして、また玉ねぎは翌年の6月と7月の宿泊學習でカレーライスなどの食事の材料に使うなど、生徒たちにとってなじみの深い野菜である。

本コースの生徒たちは、これまで1学期に春まき野菜の栽培を通して土作りから畑や学級園の植え付けを、また6月には昨年度の秋まき野菜の栽培の収穫段階を経験しており、野菜栽培に必要な作業をひとおり経験している。しかしながら作業學習時の様子や日常の様子をみると、気が散り落ち着いて自分の作業に取り組めない生徒、熱心に取り組むが時として授業から逸脱した活動へ発展してしまう生徒、初めは熱心だが自分の分担が終るとぼんやりと過ごしてしまう生徒などがみられる。このことは、現在の作業活動を将来の収穫や自分の現在の消費生活と関連付けることができていないことや、毎時間の活動に明確な見通しが持てないこと、また責任感や協調性、根気強さなどがまだ十分に備わっていないことや作業に関する基礎的な知識や技能等が十分に身に付いていないことなどのためではないかと考える。

そこで、本題材では1学期に経験した土作り、種まき、鉢上げ移植、定植などの活動を収穫活動や販売、貯蓄、消費活動などと関連付けて、栽培計画表などで見通しを持たせながら作業に取り組ませていくことと、一つ一つの栽培過程の作業の中で、それぞれの生徒の特性等を生かした役割分担を工夫することで責任感や協調性を養うことができるようとする。また、土作りなどの力仕事や苗の移植などの細かい手作業を繰り返し行うことで体力、根気強さ、集中力、手先の巧ち性等を養うようにする。さらに、栽培して収穫した作物を宿泊學習の食事や給食に使ってもらうことや、附養まつりや近隣地区で作物の販売することを通して自己効力感を味わわせることができるとともに、言語、対人面の能力の向上も期待できる。

このように、一連の學習活動に見通しを持ち、友達と協力しながら粘り強く作業に取り組むことや、収穫した作物をめぐって得られる自己効力感等の体験を通して、生徒たちは作業に対する積極的な態度を身に付けることができる。そして、そのことが勤労を重んずる態度を養うことになり、進んで社会生活に参加する能力を培うことになる。また、開放的な自然条件の下で、野菜の生長を見守りながら農耕作業を続けることは、情緒の安定につながるとともに、生命尊重の豊かな心を育むことにもつながると考える。

題材の意義

1段落

扱う作物の特性を述べるとともに、「なぜ今」という視点で、生徒たちとのかかわりを基に題材の意義を述べる。

生徒の実態

2段落

生徒の既習経験、活動の様子を中心に題材にかかる実態を述べる。実態の背景の考察まで述べることで3段落の指導観へのつなぎをスムーズにする。

指導観

3段落

具体的な活動を2段落を受けた「ねらい」と対応付けながら述べる。

今後の展望

4段落

本題材の一連の活動を行って期待できる発展的な生徒像を述べる。

(2) 生徒の実態

農耕コースは学年の枠を解いた男女5名で構成されている。中学部は1年ごとに作業コースのローテーションを行っているため、農耕作業の経験は全員が今年度初めてである。しかしながら、前題材「春まき野菜の栽培」の中で類似の経験をしているため、おおよその作業の流れや内容は理解させやすいと思われる生徒もいる。

本題材に関する生徒一人一人のおおよその実態は次のとおりである。

氏名 (学年、性別)	Y. T (1年、男)	T. T (2年、男)	H. S (2年、男)																																		
CA	12 : 5	13 : 11	13 : 11																																		
MA (IQ)	3 : 4 (29)	8 : 2 (59)	3 : 9 (28)																																		
SA (SQ)	4 : 6 (39)	8 : 1 (63)	4 : 6 (36)																																		
本題材に関する知識、及び興味・関心	<ul style="list-style-type: none"> 玉ねぎの名称を聞かれて答えることはできるが、レタスについて不明確。 種まき、移植など栽培過程で使われる言葉の理解はあいまいである。 	<ul style="list-style-type: none"> 玉ねぎ、レタス共に名称を聞かれて答えることができる。 種まき、移植などの言葉は知っているが実際の作業で的確に対応付けられないことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 玉ねぎの名称を聞かれて答えることはできるが、レタスについては頭文字などのヒントがあれば答えることができる。 移植などの言葉の理解はあいまい。 																																		
本題材に関する技能	<table border="1"> <tr> <td>土作り</td><td> <ul style="list-style-type: none"> スコップを持っても握る力が弱くすぐに離してしまった。 </td><td> <ul style="list-style-type: none"> スコップを使って土と腐葉土を混ぜることができる。 </td><td> <ul style="list-style-type: none"> スコップを握るが思うように操作することは難しい。 </td></tr> <tr> <td>ふるい掛け</td><td> <ul style="list-style-type: none"> 両手でふるいを持ち相手にタイミングを合わせてもらいながら振ることができる。 </td><td> <ul style="list-style-type: none"> 相手にタイミングを合わせ、リードしながらふるいを振り石ころを捨てることができる。 </td><td> <ul style="list-style-type: none"> ふるいをしっかりと持つて振ることができると、タイミングの取り方がうまくいかない。 </td></tr> <tr> <td>種まき</td><td> <ul style="list-style-type: none"> 教師と一緒にならまるけるが一か所に偏って落としてしまう。育苗箱の土入れと種まきの順番には無関心である。 </td><td> <ul style="list-style-type: none"> 教師の助言でおおむね均一に種をまける。育苗箱の底沼土バーミキュライトなどを入れる順番はあいまいである。 </td><td> <ul style="list-style-type: none"> 教師と一緒になら種をまけるが、均一にまけない。育苗箱に入れる土の名称も順番はあいまいだが自動的である。 </td></tr> <tr> <td>鉢上げ移植</td><td> <ul style="list-style-type: none"> 苗を抜くときに力の加減が不適切でちぎれる。ビニール鉢への土入れはわしづかみだが、教師が鉢を支えてやればこぼさずにできる。苗の植え付けは上下の区別があいまいで根に土がかぶらない。 </td><td> <ul style="list-style-type: none"> 苗抜きは効率的であるが根がちぎれることもある。ビニール鉢へ適量に土入れができる。苗の植え付けでは、適切な大きさの穴を開けないために根が十分に穴のなかに入らざることもある。 </td><td> <ul style="list-style-type: none"> 苗抜きは荒い。ビニール鉢への土入れは教師の指示があれば適量を入れることができる。苗の植え付けの際の穴開けは補助具があれば適切な深さに開けることができる。植え付けは雑である。 </td></tr> <tr> <td>定植</td><td> <ul style="list-style-type: none"> ビニール鉢から苗を取り出すことが困難である。取り出せても苗を折ってしまうたり、植え付けで土を落としきてしまったり、土かぶせがうまくできなかつたりする。 </td><td> <ul style="list-style-type: none"> 穴の掘り方は十分でないが、苗の取り出し、植え付け、土かぶせなどひととおりできる。苗を運ぶ際に下から手を添えないことがあり苗を傷めることがある。 </td><td> <ul style="list-style-type: none"> 穴が掘ってあればビニール鉢に入った苗を置いていくことができる。苗を植え付けた後の土かぶせは手の使い方がぎこちなく、うまくかぶせられない。 </td></tr> <tr> <td>除草</td><td> <ul style="list-style-type: none"> 草と苗を区別すること、しっかりとつかむこと、抜くことなど難しい。 </td><td> <ul style="list-style-type: none"> 草を苗と区別して抜くことができる。根がちぎれてしまうことがある。 </td><td> <ul style="list-style-type: none"> 草と苗の区別があいまいで、苗の方を抜いてしまうことがある。 </td></tr> <tr> <td>農耕作業時の様子と態度</td><td> <ul style="list-style-type: none"> テレビ番組名、時間帯など自分の興味。関心に意図が向きがちで、学習活動からの逸脱が多い。体力的に未発達な面もあり根気強さに欠ける。分担作業での責任感も十分ではない。 土のついた手を口に運ぶなど、衛生面に課題がある。 </td><td> <ul style="list-style-type: none"> 農耕コースでは、リーダー的な立場にある。熱心に取り組むが、後半になると終わりの時間を気にして作業がおろそかになることがある。自分の分担について一応責任を持って行える。 </td><td> <ul style="list-style-type: none"> 自分の作業分担より友達の様子が気になり、自分の仕事をほうり出してしまうことが多い。 体力及び根気強さも十分でなく、外での作業で日陰に入りたがるなどの行動が多い。 汚れたハンカチでも気にせず使う。 </td></tr> <tr> <td>言語・数量能力</td><td> <ul style="list-style-type: none"> 音声言語による交信と文字の読みはできる。時刻については比較的正確だが、数量概念はあいまい。 </td><td> <ul style="list-style-type: none"> 音声言語、文字共に日常生活に不自由はない。加法等の計算能力は小3年生程度である。 </td><td> <ul style="list-style-type: none"> 登語が不明りょうではあるが、音声言語による簡単な交信は可能。10以下の1対1対応は可能。 </td></tr> <tr> <td>備考</td><td>自閉児</td><td>自閉児</td><td></td></tr> </table>	土作り	<ul style="list-style-type: none"> スコップを持っても握る力が弱くすぐに離してしまった。 	<ul style="list-style-type: none"> スコップを使って土と腐葉土を混ぜることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> スコップを握るが思うように操作することは難しい。 	ふるい掛け	<ul style="list-style-type: none"> 両手でふるいを持ち相手にタイミングを合わせてもらいながら振ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手にタイミングを合わせ、リードしながらふるいを振り石ころを捨てることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ふるいをしっかりと持つて振ることができると、タイミングの取り方がうまくいかない。 	種まき	<ul style="list-style-type: none"> 教師と一緒にならまるけるが一か所に偏って落としてしまう。育苗箱の土入れと種まきの順番には無関心である。 	<ul style="list-style-type: none"> 教師の助言でおおむね均一に種をまける。育苗箱の底沼土バーミキュライトなどを入れる順番はあいまいである。 	<ul style="list-style-type: none"> 教師と一緒になら種をまけるが、均一にまけない。育苗箱に入れる土の名称も順番はあいまいだが自動的である。 	鉢上げ移植	<ul style="list-style-type: none"> 苗を抜くときに力の加減が不適切でちぎれる。ビニール鉢への土入れはわしづかみだが、教師が鉢を支えてやればこぼさずにできる。苗の植え付けは上下の区別があいまいで根に土がかぶらない。 	<ul style="list-style-type: none"> 苗抜きは効率的であるが根がちぎれることもある。ビニール鉢へ適量に土入れができる。苗の植え付けでは、適切な大きさの穴を開けないために根が十分に穴のなかに入らざることもある。 	<ul style="list-style-type: none"> 苗抜きは荒い。ビニール鉢への土入れは教師の指示があれば適量を入れることができる。苗の植え付けの際の穴開けは補助具があれば適切な深さに開けることができる。植え付けは雑である。 	定植	<ul style="list-style-type: none"> ビニール鉢から苗を取り出すことが困難である。取り出せても苗を折ってしまうたり、植え付けで土を落としきてしまったり、土かぶせがうまくできなかつたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 穴の掘り方は十分でないが、苗の取り出し、植え付け、土かぶせなどひととおりできる。苗を運ぶ際に下から手を添えないことがあり苗を傷めることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 穴が掘ってあればビニール鉢に入った苗を置いていくことができる。苗を植え付けた後の土かぶせは手の使い方がぎこちなく、うまくかぶせられない。 	除草	<ul style="list-style-type: none"> 草と苗を区別すること、しっかりとつかむこと、抜くことなど難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 草を苗と区別して抜くことができる。根がちぎれてしまうことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 草と苗の区別があいまいで、苗の方を抜いてしまうことがある。 	農耕作業時の様子と態度	<ul style="list-style-type: none"> テレビ番組名、時間帯など自分の興味。関心に意図が向きがちで、学習活動からの逸脱が多い。体力的に未発達な面もあり根気強さに欠ける。分担作業での責任感も十分ではない。 土のついた手を口に運ぶなど、衛生面に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 農耕コースでは、リーダー的な立場にある。熱心に取り組むが、後半になると終わりの時間を気にして作業がおろそかになることがある。自分の分担について一応責任を持って行える。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の作業分担より友達の様子が気になり、自分の仕事をほうり出してしまうことが多い。 体力及び根気強さも十分でなく、外での作業で日陰に入りたがるなどの行動が多い。 汚れたハンカチでも気にせず使う。 	言語・数量能力	<ul style="list-style-type: none"> 音声言語による交信と文字の読みはできる。時刻については比較的正確だが、数量概念はあいまい。 	<ul style="list-style-type: none"> 音声言語、文字共に日常生活に不自由はない。加法等の計算能力は小3年生程度である。 	<ul style="list-style-type: none"> 登語が不明りょうではあるが、音声言語による簡単な交信は可能。10以下の1対1対応は可能。 	備考	自閉児	自閉児	
土作り	<ul style="list-style-type: none"> スコップを持っても握る力が弱くすぐに離してしまった。 	<ul style="list-style-type: none"> スコップを使って土と腐葉土を混ぜることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> スコップを握るが思うように操作することは難しい。 																																		
ふるい掛け	<ul style="list-style-type: none"> 両手でふるいを持ち相手にタイミングを合わせてもらいながら振ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手にタイミングを合わせ、リードしながらふるいを振り石ころを捨てることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ふるいをしっかりと持つて振ることができると、タイミングの取り方がうまくいかない。 																																		
種まき	<ul style="list-style-type: none"> 教師と一緒にならまるけるが一か所に偏って落としてしまう。育苗箱の土入れと種まきの順番には無関心である。 	<ul style="list-style-type: none"> 教師の助言でおおむね均一に種をまける。育苗箱の底沼土バーミキュライトなどを入れる順番はあいまいである。 	<ul style="list-style-type: none"> 教師と一緒になら種をまけるが、均一にまけない。育苗箱に入れる土の名称も順番はあいまいだが自動的である。 																																		
鉢上げ移植	<ul style="list-style-type: none"> 苗を抜くときに力の加減が不適切でちぎれる。ビニール鉢への土入れはわしづかみだが、教師が鉢を支えてやればこぼさずにできる。苗の植え付けは上下の区別があいまいで根に土がかぶらない。 	<ul style="list-style-type: none"> 苗抜きは効率的であるが根がちぎれることもある。ビニール鉢へ適量に土入れができる。苗の植え付けでは、適切な大きさの穴を開けないために根が十分に穴のなかに入らざることもある。 	<ul style="list-style-type: none"> 苗抜きは荒い。ビニール鉢への土入れは教師の指示があれば適量を入れることができる。苗の植え付けの際の穴開けは補助具があれば適切な深さに開けることができる。植え付けは雑である。 																																		
定植	<ul style="list-style-type: none"> ビニール鉢から苗を取り出すことが困難である。取り出せても苗を折ってしまうたり、植え付けで土を落としきてしまったり、土かぶせがうまくできなかつたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 穴の掘り方は十分でないが、苗の取り出し、植え付け、土かぶせなどひととおりできる。苗を運ぶ際に下から手を添えないことがあり苗を傷めることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 穴が掘ってあればビニール鉢に入った苗を置いていくことができる。苗を植え付けた後の土かぶせは手の使い方がぎこちなく、うまくかぶせられない。 																																		
除草	<ul style="list-style-type: none"> 草と苗を区別すること、しっかりとつかむこと、抜くことなど難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 草を苗と区別して抜くことができる。根がちぎれてしまうことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 草と苗の区別があいまいで、苗の方を抜いてしまうことがある。 																																		
農耕作業時の様子と態度	<ul style="list-style-type: none"> テレビ番組名、時間帯など自分の興味。関心に意図が向きがちで、学習活動からの逸脱が多い。体力的に未発達な面もあり根気強さに欠ける。分担作業での責任感も十分ではない。 土のついた手を口に運ぶなど、衛生面に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 農耕コースでは、リーダー的な立場にある。熱心に取り組むが、後半になると終わりの時間を気にして作業がおろそかになることがある。自分の分担について一応責任を持って行える。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の作業分担より友達の様子が気になり、自分の仕事をほうり出してしまうことが多い。 体力及び根気強さも十分でなく、外での作業で日陰に入りたがるなどの行動が多い。 汚れたハンカチでも気にせず使う。 																																		
言語・数量能力	<ul style="list-style-type: none"> 音声言語による交信と文字の読みはできる。時刻については比較的正確だが、数量概念はあいまい。 	<ul style="list-style-type: none"> 音声言語、文字共に日常生活に不自由はない。加法等の計算能力は小3年生程度である。 	<ul style="list-style-type: none"> 登語が不明りょうではあるが、音声言語による簡単な交信は可能。10以下の1対1対応は可能。 																																		
備考	自閉児	自閉児																																			

CA: 平成〇年〇月〇日現在

・IQ: 段見ビネ式知能検査 1年生は平成〇年〇月、2年生は平成〇年〇月、3年生は平成〇年〇月に実施。
・SQ: S-M社会生活能力検査 1年生は平成〇年〇月、2年生・3年生は平成〇年〇月に実施。

生徒の実態

2(1)で述べた実態、意義・価値、ねらい、指導観、活動内容を受けて、題材全体に関する実態を具体的な項目、観点を設けて述べる。これまでの学習経験や生活経験を基礎的なデータとする。個々の生徒の学習課題がはっきりと見えてくるよう心掛けよう。

ポイント

作業学習の場合、題材に関する基礎的な知識はもちろんのこと、技能・態度も重要な学習内容となってくる。

各個人の発達段階に応じた社会自立を目指すためにも、作業態度の実態を適切に把握する必要性がある。

- ・あいさつ、返事
- ・意欲、積極性
- ・持続力、集中力
- ・理解力
- ・周囲の人々へのかかり方など

ここでは

特に、健康面（体力、衛生）、安全面などへの配慮が必要である。本題材で特に留意したい面があれば述べておく。

ポイント

言語・数量能力は、あいさつ、報告、金銭の取り扱い、収穫量の計算、時間の概念などと関連させて指導するために大切な項目である。

(3) 指導上の留意点

- 見通しを持った活動ができるように、題材の導入の段階及び各授業の導入時には種まきから定植、収穫、販売、貯蔵、消費までの作業内容の流れを図示したものを提示し確認するとともに具体物の提示も有効に取入れる。
- 導入段階では、各生徒の前時の実績を振り返って本時の目当てを決め、その達成状況については展開や終末の中で本人や全員に賞賛の形でフィードバックするようとする。
- 1学期の学習経験が生かされる活動が多いため、役割分担においては生徒の得意な作業を分担させてより一層の習熟を図るとともに、不慣れな作業にも少しづつ取り組んでいくようにする。
- 生徒の実態と作業内容から、補助具の工夫が必要なものについては積極的に開発、導入するようにする。
- 作業開始時及び作業中の健康観察、農具等の扱いに関する安全面の指導、作業中及び作業終了後の衛生面の指導を入念に行う。
- 収穫したレタスと玉ねぎは、宿泊学習は給食などに役立てるだけでなく、販売活動を通じて近隣地区の人々とかかわり合えるような機会をつくるようにする。また販売代金については、貯金や買い物等への経験を生かすようにしてお金の扱いに慣れさせるとともに、生徒たちの意欲付けに役立つようにする。

指導上の留意点

(3)には、(1)で書いた基本的な考え方について(2)の実態を踏まえ、実際の授業を行う上での留意事項(手だて、指導観等)の述べる。

ポイント

- 意欲を高め、課題意識を持続させる面
- 個々に応じる面
- 教材・教具の工夫や提示の仕方
- 安全・衛生面等への配慮
- 他領域・教科、家庭生活への発展との関連

3 目 標

- 秋まき野菜の栽培を通して、土作り、種まき、鉢上げ移植、定植、除草、収穫などの野菜栽培の基礎的な知識、技能を身に付けさせるとともに、友達と協力し合いながら見通しを持って最後まで作業に取り組もうとする態度を養う。

ここでは

農耕に必要な基礎的な知識・技能面と、協力して取り組むという態度面から集団全員の共通目標を述べている。

4 指導計画(総時数42時間)

次	主な学習活動・内容	時 間	資料・準備
一	1 秋まき野菜の栽培について話し合う。 ・野菜の種類と栽培計画について知る。	2	・栽培計画表 ・玉ねぎ等
二	2 種まきをする。 3 鉢上げ移植をする。 4 栽培管理(水掛け、除草等)をする。	22 本 時 (3/22)	・種・育苗箱 ・用土・ビニール鉢等
三	5 定植及び栽培管理(除草、追肥等)をする。 6 収穫する。	12	・一輪車・リヤカー等
四	7 販売をする。 8 秋まき野菜の栽培の反省をする。	6	・貯金通帳 ・VTR等

ここでは

作業の工程に沿って、計画立案の段階、定植に至るまでの段階、収穫に至るまでの段階、販売し反省をする段階の四次で構成している。作業学習では、自分たちが作った物を販売し、収入を得る活動があることが特徴である。



5 本時の学習（5／42）

(1) 目標

- 自分の分担のレタスの鉢上げ移植作業を、責任を持って最後までやり遂げることができる。

(個人目標)

氏名	個人目標
Y. T	・ 教師と一緒に時間一杯ビニール鉢を並べたり運んだりすることができる。
T. T	・ 根がはみ出ないように最後まで丁寧に苗を植え付けることができる。
H. S	・ 教師と一緒にビニール鉢に土を入れ、適度な深さの穴を開けることができる。
K. M	・ 十分な深さに苗を植え付け、しっかりと土をかぶせることができる。
H. E	・ ビニール鉢に土を適度に入れ、根がはみ出ないように苗を植え付けることができる。

(2) 指導に当たって

生徒たちは、前時までに本題材の大まかな栽培計画を表や説明等により把握し、その第一段階といえる種まきを行ってきてている。そこで本時では、栽培計画表やレタスの具体物などで作業の見通しをより確実にし、これから行おうとする鉢上げ移植作業への意識付けを図りながら作業に入りたい。

鉢上げ移植作業は、培養土作り、ビニール鉢への土入れ、育苗箱からの苗取り、土に穴を開けて苗の植え付け、水掛けなどの作業で成り立っている。本時は、秋まき野菜の移植作業の1時間目であるが、生徒たちは1学期の「春まき草花の栽培」等で同様の作業を経験しているので、良かったことや注意点などを振り返らせることで、本時の各人の仕事分担と目当てを意識させるようになる。なお、分担は本時が1時間目であることを考慮してなるべく得意な仕事に当たらせるとともに、それぞれの分担がそれぞれ重要な役割を果たしていることに気付かせ、最後まで責任を持って遂行できるようにする。また作業中は、移植作業で注意すべきことを的確に押え、お互いの言葉掛けを促しながら作業のポイントとリズムをつかませるようにする。

穴開けや鉢並べ等については適切な補助具を準備して、それぞれの生徒の目当ての達成を促し、終末でそれぞれの分担の意義を認め合わせることで、全員の協力で移植作業が遂行されつつあることの成就感や満足感を味わわせるようにする。

本時の目標

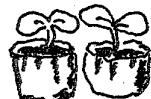
技能面、態度面の両面から全体の目標を考えていきたい。

個人目標

全体の目標を個々に下ろし、個々に応じた具体的な行動として考え述べていく。

ここでは

同じ「できる」という表現でも一人でできるのか、教師が介助をしてできるのかで、その目標が異なってくる。



1段落

生徒達の今までの学習経験を端的に述べ、本時の指導の位置をはっきりさせる。

2段落

本時の学習の具体的な進め方について述べていきながら授業を構成する際の力点の置き方、生徒たちへの意識の持たせ方、分担の仕方の工夫、興味・関心の持たせ方、技能、責任、持続、協力といった作業学習で培うべき、基本的な点も合わせて述べていく。

3段落

個に応じる指導として補助具などの使用についても述べていく。

(3) 実 際

過 程 (時 間)	主 な 学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	資 料・準 備
導 入 (10分)	<p>1 本時の学習について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 前時までの学習の確認 本時の学習内容の確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">レタスの移植を最後まで頑張ろう</div> <ul style="list-style-type: none"> 個人の分担と目当ての確認 	<ul style="list-style-type: none"> 育った苗を提示しながら前時の活動状況を振り返るとともに栽培計画表で全体の流れをつかませる。 レタス、ビニール鉢等の具体物で本時の学習内容を知らせ、活動への意欲を持たせるようにする。 1学期の移植作業を想起させ各自の課題について教師の助言で自覚させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 苗 栽培計画表 レタス ビニール鉢 穴用補助具 掲示板 目当てカード
展 開 (25分)	<p>2 土作りと移植作業をする。</p> <p>(1) 土作りをする</p> <ul style="list-style-type: none"> ふるい掛け 腐葉土との混ぜ方 <p>(2) 移植作業をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 苗取り、植え付け… T.T 鉢並べ、鉢運び… T.Y 土入れ、穴開け… H.S 土入れ、植え付け… H.E 植え付け … K.M 水掛け … H.E <p>3 後始末をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ビニール鉢の始末、土寄せ 	<ul style="list-style-type: none"> ふるい掛けは2ペアで交互にさせる。残りの1人は苗取りに取り組ませる。C.TとS.Tはふるいと苗のそれぞれの組につく。 T.T, H.E, K.Mには、言葉による指示や賞賛及び示範により本時のそれぞれの目当てが達成されるようにする。Y.T, H.Sについては、それぞれC.T, S.Tがつき、鉢を倒さないための、もしくは適度な深さの穴を開けるための補助具の使い方に慣れさせながら目当ての達成に努める。 水掛けについては、全体にまんべんなく掛けさせるようになる。 一か所に集めさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ふるい スコップ 割りはし 受け皿 バケツ 鉢用補助具 穴用補助具 苗 じょうろ
終 末 (5分)	<p>4 まとめをする。</p> <p>(1) それぞれの反省をする。</p> <p>(2) 全体の反省をする。</p> <p>(3) 次時の学習について知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> C.Tがそれぞれの頑張りについて肯定的に評価していくが、S.Tも担当の生徒を中心評価する。もっと努力すべき点についても確認させる。 移植作業が続くことを知らせ、意欲付けを図る。 手洗い等の言葉掛けをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 目当てカード 分担カード 栽培計画表

* C.T : チーフティーチャー, S.T : サブティーチャー

実 際

本時の目標が達成できるようにし学習活動を組織し、学習活動や流れをできるだけ詳しく述べる。

導 入

- 前時との関連を図るような内容
 - 全体の作業工程の中で本時の位置付けを明確にする内容
 - 本時の作業内容や目当てを具体的に示し活動に意欲付けを図れるような内容
- ↓↓↓
具体的な姿で分かりやすく

展 開

- 作業を通して態度や知識・技能が身に付くられるような内容
- 生徒が見通しを持って主体的に取り組めるような内容
- 個に応じて生徒の役割分担ができる、生徒同士かかわるるような内容

指導上の留意点

何のために、何を、どのようにするかを、教師の立場で具体的に述べる。

ここも大切

- 教師の援助の仕方、役割分担
- 各自の作業工程のポイント
- 補助具の活用の仕方など

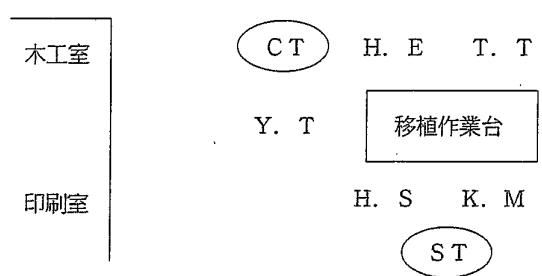
終 末

- 各個人目標に沿って本時の活動についてのまとめや評価を行う内容
- 次時の作業につながるような内容
- 衛生面への配慮

(4) 評価

- 自分の分担の鉢上げ移植作業を、責任を持って最後までやり遂げることができたか。

(5) 場の設定

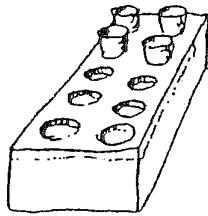


評価

- 生徒の作業を通して具体的な姿（態度面、知識・技能面）で評価できるような内容

土作り（ふるい掛け）
作業場

鉢用補助具
鉢を倒すことなく、鉢上げ移植を行うことができ、運搬も容易である。



穴用補助具
一定の深さの穴を簡単に開けることができる。



ここも大切

- 専用の補助具については分かりやすく図示し説明する。